

上越印刷工業+マルキンアド

全国大手と取引+デザイン力

資本業務提携強み共有

上越印刷工業（前橋市大渡町）と広告デザインのマルキンアド（富岡市下黒岩）は、資本業務提携を結んだ。業界の垣根を越えて事業展開を図る上越印刷工業と、高いデザイン力を武器にインターネット活用やイベント企画なども手掛けるマルキンアドが互いの強みを共有。総合力を生かして両社それぞれの事業拡大を図る。

の企画をはじめ、ネット広告やサイトのデザイン、アプリケーションの開発、イベントの運営も手掛ける。提携した上越印刷工業は「印刷業を超えた情報加工業として、新たな成長戦略を策定している。クロスメディアが進む中、事業分野を広げる上でマルキンアドのデザイン力が必須」と強調。マルキンアドは「全国の手企業とも取引のある上越印刷工業やエンデバー・ユナイテッドとの相乗効果を生み出し、クリエーティブなデザイン力を発揮したい」としている。

昨年12月6日に資本業務提携を結んだ。上越印刷工業がマルキンアドの全株式を取得し、資本面ではM&A（合併・買収）の形をとった。同日付で上越印刷工業の関智宏社長がマルキンアドの社長にも就任。マルキンアド社長だった山田勝博氏は同社顧問に就いた。

両社の営業体制や組

織、人員を維持した上で、業務の具体的な提携内容は今後協議して決定する。ウェブ関連の技術交流やスキルの共有などは随時進めているという。

上越印刷工業は2017年10月、投資会社「エンデバー・ユナイテッド（東京都千代田区）」と経営パートナーシップ契約を結び、全株式を譲渡。18年6月に関氏が社長に就任して以降、「第二の創業」を掲げ、紙媒体以外の販売促進策を柔軟に提案したりコンテンツ制作に乗り出したりしている。

一方、マルキンアドは前身の印刷会社、総合美術丸金を経て1996年に法人化。国内外的コンテストで受賞するなど、デザイン力に定評がある。印刷物